

2018年10月9日（火曜日）午前10時 名古屋市議会経済水道委員会 付議議案審査
[質疑（市民経済局、観光文化交流局関係）]

名古屋市民オンブズマン 文字起こしアプリによる文字起こし

江上博之（共産・中川区）：次に名古屋城の問題についてお聞きをします。

一つは、一般会計分の問題で石垣の修復で先ほども不用額が大変あると言われました。

これは本丸絡手馬出の関係の工事かと思えますけれども、これ何が問題でこんなことになってしまったのか。どうでしょうか。

岩本保存整備室長：現在ですね修復進めております本丸絡手、私の仕上げでございますけどこれ江戸時代の天和の時代に修復された箇所がまた傷んできてですね、ろくおんかい平成16年から修復をしているわけなんですけれども。

現状としてはあと2段外すとですね、取り外しが完了するという状況でございました。

すでにですね着工から10数年が経過しているということなるべく早く修復を進めていきたいという思いでですね積み直しに至るまでの予算を確保したと次第でございますけれども、実際工事に入る前にですね、石垣部会の先生がたに、説明したところですね、実際石垣今回二段ををとりますとですね、以前、修復したことがない、まあ築城以来修復したことがない石垣が出てくるということで、こういったところをしっかりと確認した上での積み直しの計画をすべきだというご指摘がですね、あと実際積み直しの勾配なんかの検討段階を進めてきたわけなんですけども。やり方にまだ細かい部分が詰め切れていないと、もう少し詰め直し計画をしっかりとみなおすべきだということで、そういったご指摘を受けましたと同時にですね、実際まあこういった検討する体制に名古屋城の場合になってないんじゃないかというご指摘を受けたところでございます。

こういったご指摘に対してですね、名古屋城として対応としてはですね実際特別史跡の石垣を適切に補修していくためにはですね、やはりしっかりとした調査検討等を行って適切な方法で積み直しの計画をもう一度再度練り直さなければいけないというふうに判断いたしまして、これをやるに当たってですね実際ちょっと体制が不足していたりですね、実際その調査検討というのはかなりちょっと時間かかってしまうということですね実際その当該年度にそういった調査検討して尚且つ積み直しの計画を詰め直して、工事を発注するというのはちょっと不可能ということを判断しまして実際積み直しまで工事いこうと思っておったところなんですけども。

実際地盤補強前面の地盤補強だけの工事内容になってしまったものですからかなり大きな不用額が出たという内容でございます。

江上博之（共産・中川区）：行ってみれば予算は2億、決算では2824万。こういうことだと思っんですね。

したがって今言われたことをですね、指摘されている問題、そして対応、そして、現時点で 2800 万はこんな形で使ったと、こういうことがわかるような資料をお願いしたいんですがどうでしょう。

岩本保存整備室長：資料の方提出させていただきます。

江上博之（共産・中川区）：じゃ今度は特別会計の関係になりますけれども、基本設計等が 29 年度行われました。これは等と書いてあります。

従って 8 億 4600 万ほどですけども、この等の中身も含めてですね、項目について、予算で幾らぐらいであったのか。それが決算で幾らぐらいになったのか、そこら辺のことについて、資料でお願いしたいと思いますがいかがですか。

主幹：資料で提出させていただきたいと思います。

江上博之（共産・中川区）：それでこの 29 年度相当基本設計を時間が取ったんじゃないかと思えますけど、3 月 31 日までに終わったのかどうか、そこら辺はどういう経過だったのかどうかそこらへん明らかにしてください。

新井主幹：5 月の、昨年 5 月の 9 日にですね基本協定を結ぶのとあわせまして、基本設計の契約をさせていただきました。もともとの工期としましては 2 月 28 日ということで、基本設計を進めておりましたが、一部工程上のスケジュールもありまして、3 月 30 日に、工期を変更するというので業務を進めておりました。

3 月 30 日に業務の完了というのを確認させていただくことができましたので、業務として、完了したということでございます。以上です。

江上博之（共産・中川区）：業務としては 3 月 30 日に完了したと。こういうことで名古屋市は考えているということですね。

主幹：そのとおりでございます

江上博之（共産・中川区）：わかりました。